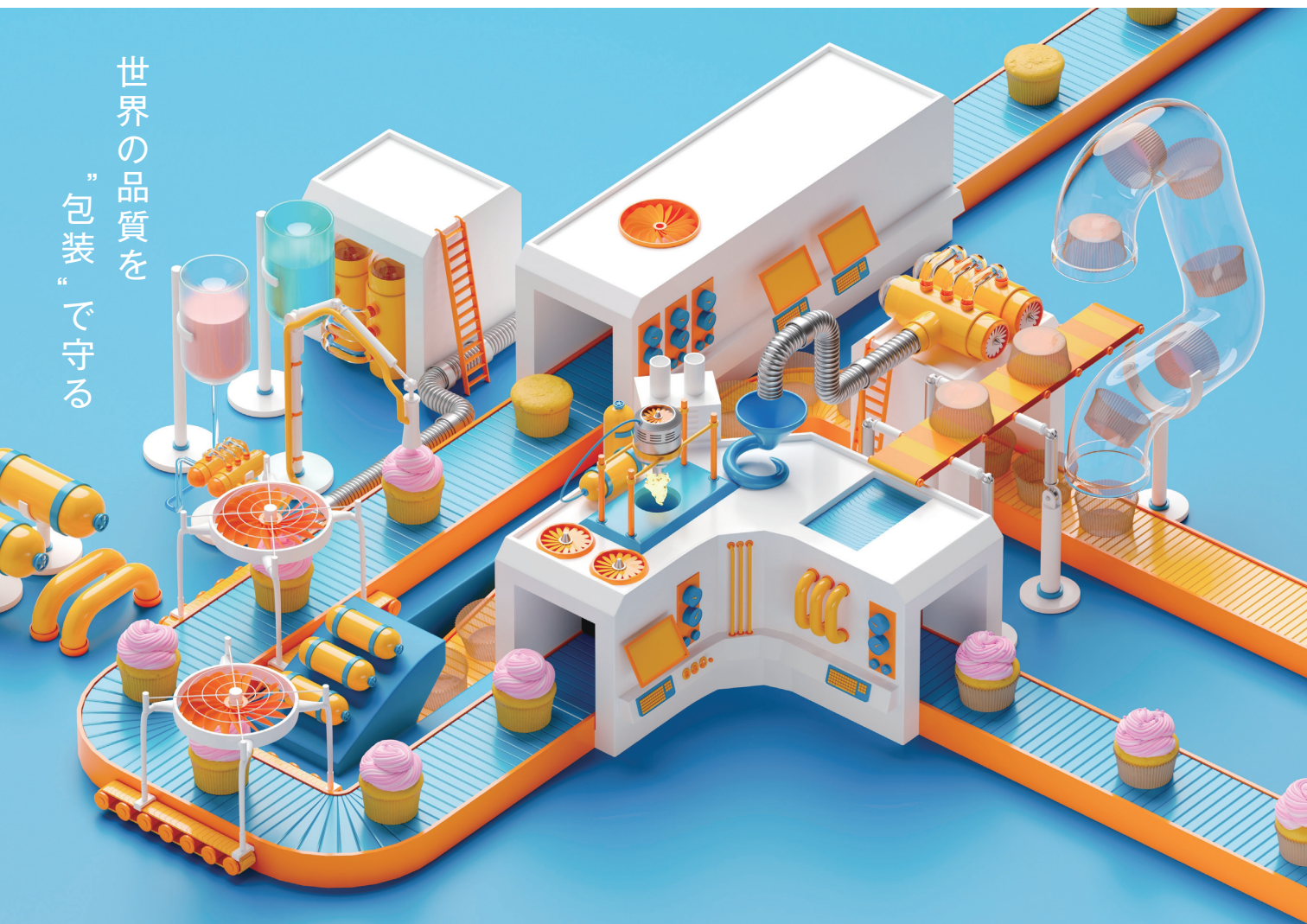


INVESTORS' GUIDE

ゼネラルパッカー
通信

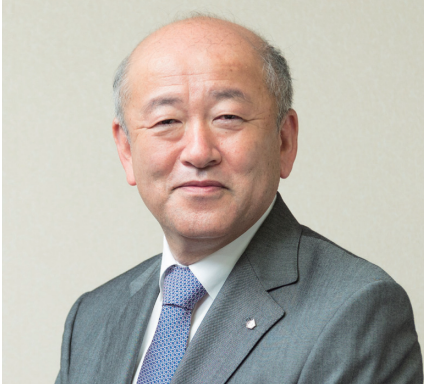
2026年7月期(第65期)中間 [2025.08.01→2026.01.31]

世界の品質を
”包装”で守る



証券コード 6267

包装システムのトータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社



第7次中期経営計画の
最終年度の締めくくりとして、
経営目標ならびに
業績目標の達成に向けて
全社一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに当社第65期第2四半期累計期間(2025年8月1日から2026年1月31日まで)の
営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。
ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、
今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
牧野 研二

2026年7月期上半期の決算概況

2026年7月期上半期の売上高は4,593百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は361百万円(前年同期比23.9%減)、経常利益379百万円(前年同期比21.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は262百万円(前年同期比22.5%減)となりました。売上利益ともに当初業績予想を下回る結果となりましたが、増収を維持しております。
全体の売上高は367百万円の増収となりました。事業別の主な要因ですが、包装機械事業では給袋自動包装機の販売実績が増加したことに伴い592百万円の増収となった一方、生産機械事業では、大型プラントの販売実績が減少したことに伴い225百万円の減収となりました。
営業利益は全体で114百万円の減益となりました。包装機械事業では展示会出展や開発関連投資、人的資本への投資強化による販管費上昇により40百万円の減益となりました。生産機械では、大型プラントの販売実績減少により、72百万円の減益となりました。

2026年7月期通期の見通し

2026年7月期の業績見通しについて、売上高11,000百万円(前期比8.8%増)、営業利益1,095百万円(前期比2.0%増)、経常利益1,100百万円(前期比3.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益770百万円(前期比3.7%減)を予定しており、通期業績予想の修正はありません。
2026年7月期上半期では売上高が当初計画を下回ったものの、上半期での検収予定の一部案件が下半期へずれ込んだことが主な要因であります。下半期ではずれ込んだ案件の売上計上を見込んでいることや、受注残高も着実に増加していることから、通期売上高は当初計画に沿って推移するものと見込んでおります。
一方で利益につきましては開発関連投資や人的資本への投資強化に伴う販売費及び一般管理費の増加を見込んでいるものの、売上高の増加や採算性を重視した案件対応により営業利益及び経常利益は前期比で増益となる見込みです。

第7次中期経営計画の取り組みについて

第7次中期経営計画(2024年7月期～2026年7月期)では、「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけ、グローバル市場での売上高比率40%以上の実現と事業領域の拡大を重要課題として取り組みを行っております。
2026年7月期上期における海外売上高比率は29.9%となりました。前年同期の16.6%からは大きく改善したものの、中期経営計画で掲げる40%以上にはなお届いておりません。
これは、海外売上高比率が前年同期比で改善した一方で、上半期に見込んでいた一部の海外案件の売上計上が下半期へずれ込んだことも影響しております。引き続きグローバル市場での売上拡大に向けて、中国子会社・米国子会社の販売体制の強化を推進し、海外売上高比率40%以上の達成を目指してまいります。
また、同中期経営計画の最終年度である2026年7月期において経営目標ならびに業績目標の達成を目指してまいります。

株主の皆様へのメッセージ

2026年7月期の中間配当につきましては予定通り1株当たり45円とさせていただきます。期末配当につきましては1株当たり75円を予定し、年間配当合計120円を予定しております。当社の企業ビジョンである「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支持される企業」の実現を目指し、食品、医薬品を安全・確実に包装する技術を通じてより大きな社会的貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性の維持・向上に努めてまいります。
株主の皆様におかれましては、今後も当事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第7次中期経営計画

● 中期経営ビジョン

- 1 グローバル市場で信頼され、支持されるGPグループ
- 2 ワンストップで応えるソリューションカンパニー
- 3 創造力と挑戦心で活気あふれる『ものづくり企業』

経営目標	【 第6次中計 】 23/7期実績
売上高経常利益率	10.4 %
ROA (総資産経常利益率)	8.5 %
ROE (自己資本当期純利益率)	11.0 %

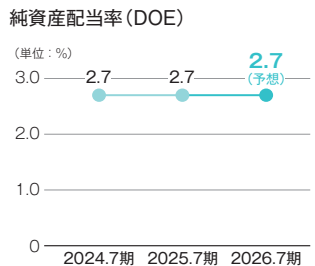
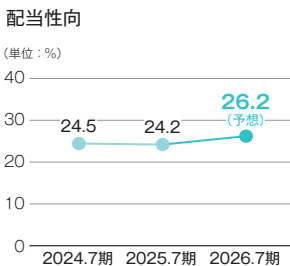
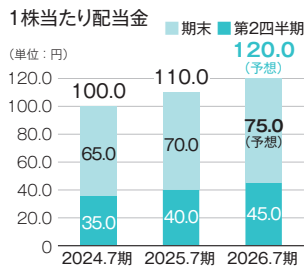
業績目標	23/7期実績
売上高	9,054 百万円
経常利益	939 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	665 百万円

【 第7次中計 】 26/7期目標
10.0 %以上
9.0 %以上
10.0 %以上

26/7期目標
11,000 百万円
1,100 百万円
770 百万円

株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)3%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指していきます。



経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移し、企業の設備投資意欲も総じて底堅い状況となりました。一方で、米国の通商政策を巡る不確実性や中東及びロシア・ウクライナ情勢等、地政学リスクの継続、為替・資源価格の変動などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけた第7次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）で掲げた基本戦略の一層の推進を図るべく、グローバル展開の加速と事業領域の拡大を重要課題として、取り組みを強化してまいりました。

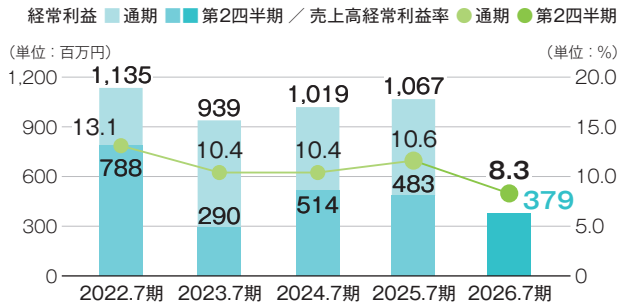
当中間連結会計期間における売上高は、生産機械事業における大型プラントの販売実績が減少したものの、包装機械事業における

給袋自動包装機が増加したことに伴い、前年同期に比べ367百万円の増収となりました。利益につきましては、国内外での展示会参加や開発関連投資、人的資本への投資強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ減益となりました。

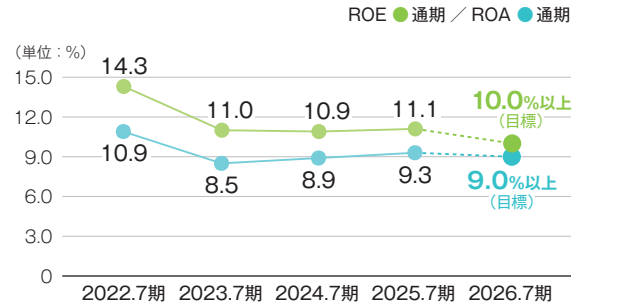
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業は給袋自動包装機の実績が増加したことから、売上高は4,395百万円（前年同期比15.6%増）となりました。利益につきましては展示会出展や開発関連投資、人的資本への投資強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は455百万円（前年同期比8.2%減）となりました。生産機械事業は大型プラントの販売実績の減少により、売上高は197百万円（前年同期比53.3%減）、営業損失は93百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

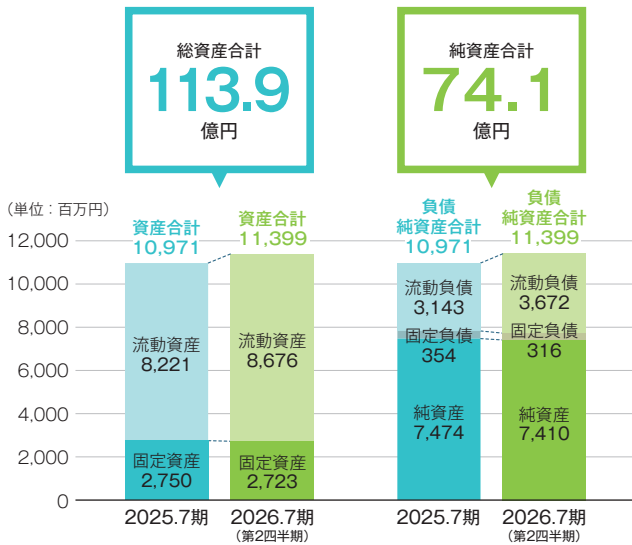
経常利益／売上高経常利益率



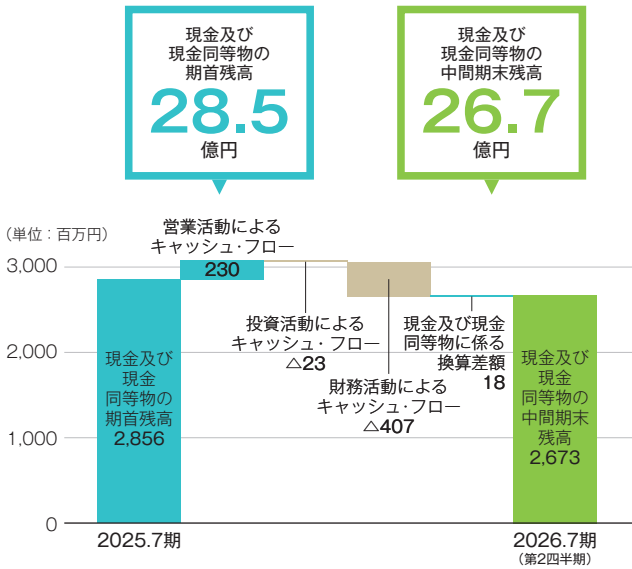
ROE／ROA



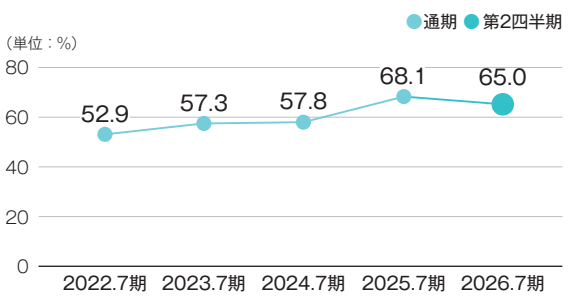
財務状況



キャッシュ・フローの推移



自己資本比率



財務分析

当中間連結会計期間末における資産合計は11,399百万円となり、前連結会計年度末に比べて427百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が182百万円減少した一方で、棚卸資産が485百万円、ファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額を含む未収入金が82百万円、流動資産その他に含まれる前渡金が75百万円、それぞれ増加したことあります。

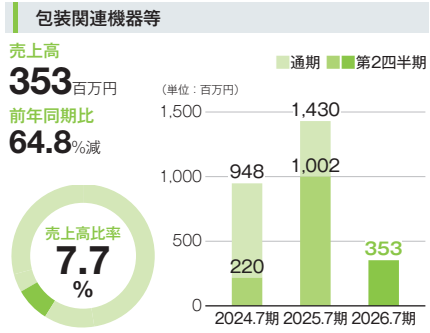
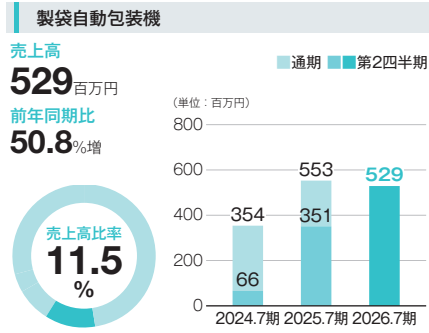
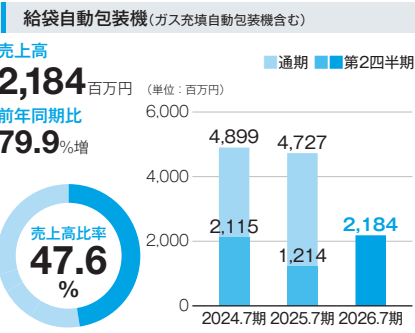
負債合計は3,988百万円となり、前連結会計年度末に比べて491百万円増加いたしました。主な要因は、流動負債その他に含まれる未払消費税等が73百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）が45百万円、それぞれ減少した一方で、仕入債務が470百万円、前受金が179百万円、それぞれ増加したことあります。

キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果得られた資金は230百万円（前年同期比39.0%減）となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加額454百万円、税金等調整前中間純利益379百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額484百万円、法人税等の支払額102百万円です。投資活動の結果使用した資金は23百万円（前年同期比73.4%増）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出22百万円です。財務活動の結果使用した資金は407百万円（前年同期比113.6%増）となりました。支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出239百万円、配当金の支払額126百万円、長期借入金の返済による支出45百万円です。

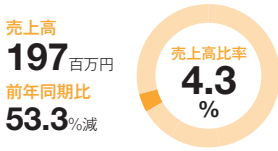
包装機械

包装機械事業につきましては、給袋自動包装機の販売実績が増加したことから、売上高は4,395百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益は455百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

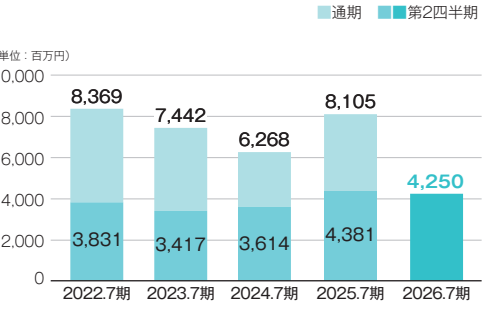


生産機械

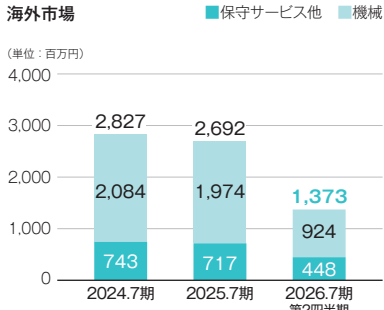
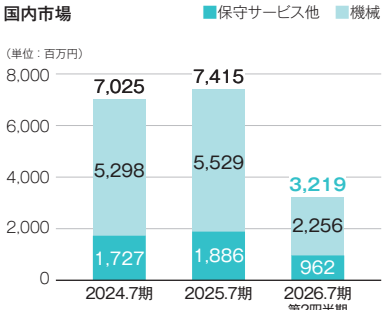
生産機械事業につきましては大型プラントの販売実績の減少により、売上高は197百万円(前年同期比53.3%減)、営業損失は93百万円(前年同期は営業損失21百万円)となりました。



機械受注高



エンドユーザー国内・海外売上高(包装機械・生産機械合計)



会社概要

商 号	ゼネラルパッカー株式会社
英 文 社 名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設 立	1961年12月
資 本 金	2億5,157万7千円
事 業 内 容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従 業 員 数	219名(連結) 175名(単体)
本 社 ・ 工 場	〒481-8601 愛知県北名古屋市区宇福寺神明65番地 TEL.(0568)23-3111(代) FAX.(0568)22-3222
東 京 営 業 部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F TEL.(03)3256-3891(代) FAX.(03)3256-3893
子 会 社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司 General Packer America Corporation
関 連 会 社	錦通日技包装科技(江蘇)有限公司

(2026年1月31日現在)

役 員

代 表 取 締 役 社 長	牧 野 研 二
常 務 取 締 役	水 野 智 之
取 締 役	安 藤 正 行
取 締 役	塚 本 真 也 オサ機械(株) 取締役会長
取 締 役	杉 田 篤 紀 オサ機械(株) 代表取締役
社外取締役(監査等委員)	久 野 浩 介
社外取締役(監査等委員)	森 田 卓 寿
社外取締役(監査等委員)	井 上 理 津 子
社外取締役(監査等委員)	小 島 浩 司
社外取締役(監査等委員)	安 藤 雅 範

(2026年1月31日現在)

株式の状況

発 行 可 能 株 式 総 数	5,600,000株
発 行 済 株 式 総 数	1,798,800株
株 主 数	1,215名

(2026年1月31日現在)

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.05
ゼネラルパッカー従業員持株会	228,000	12.71
株式会社りそな銀行	78,400	4.37
田中 かな	62,100	3.46
ゼネラルパッカー取引先持株会	59,300	3.30
梅森 輝信	53,700	2.99
島末 孝法	39,200	2.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	32,569	1.81
牧野 研二	28,700	1.60
滑 達彦	28,000	1.56

(2026年1月31日現在)

株主数構成比

個人・その他	1,157名	95.2%
その他法人	27名	2.2%
証券会社	17名	1.4%
外国人	10名	0.8%
金融機関	3名	0.3%
自己名義	1名	0.1%



株式数構成比

個人・その他	1,208,253株	67.2%
その他法人	365,280株	20.3%
金融機関	122,169株	6.8%
自己名義	83,256株	4.6%
証券会社	14,836株	0.8%
外国人	5,006株	0.3%

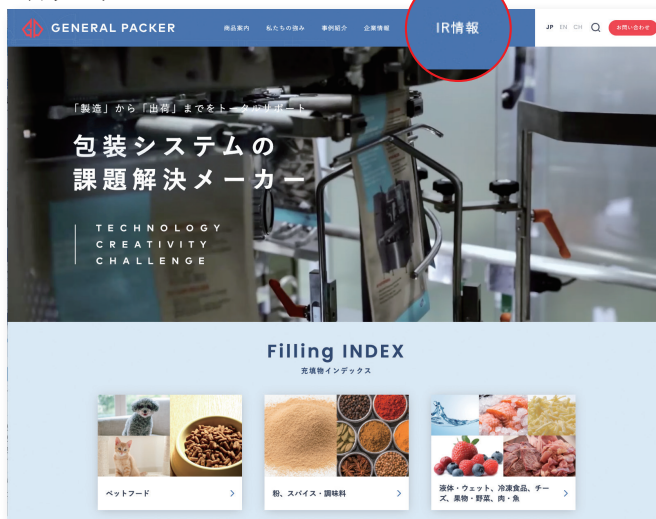


IRサイトでも、詳しい情報を提供しています

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

当社サイトは、日興アイ・アール株式会社の「2025年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」にて、スタンダード市場部門 優秀サイトに選ばれました。(https://www.nikkoir.co.jp/)

▼[トップページ](#)



▼ | R ページ



主なコンテンツ

経営方針・ 戦略	当社の企業ビジョンや中期経営計画、 CSR情報などをご覧ください。
決算・ IR資料室	アナリスト向けの決算説明会の様子が 動画でご覧いただけます。

経営方針・戦略	財務ハイライト	決算・IR資料室
<p>企業ビジョン</p> <p>事業領域</p> <p>経営理念</p> <p>経営方針</p> <p>コーポレート・ガバナンス</p> <p>ESGに関する取組</p> <p>株主優待システム</p> <p>内部統制システムに関する取組</p> <p>社会貢献に関する取組</p>	<p>経営概要</p> <p>セグメント情報</p> <p>経営成績</p> <p>財務状況</p> <p>株主情報</p>	<p>決算概要</p> <p>決算説明会</p> <p>決算報告書等</p> <p>IR情報</p> <p>IRメール</p>
個人投資家の皆さまへ	株式情報・株価情報	FAQ

個人投資家の皆さまへ

業務内容や特徴、業界情報、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	<div>定時株主総会</div> <div>7月31日</div> <div>期末配当金</div> <div>7月31日</div> <div>中間配当金</div> <div>1月31日</div> <div>その他あらかじめ公告する一定の日</div>
株主名簿管理人	<div>東京都千代田区丸の内一丁目4番1号</div> <div>三井住友信託銀行株式会社</div>

同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お 問 い 合 せ 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-782-031（フリーダイヤル）
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公 告 掲 載URL	https://www.general-packer.co.jp/

各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
- 証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
- 証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社へお申出ください。



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社

本社・工場 〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地
TEL.(0568)23-3111(代) FAX.(0568)22-3222

東京営業部 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8
KDX神田北口ビル4F
TEL.(03)3256-3891(代) FAX.(03)3256-3893

